

化学肥料低減実施報告書

記載例

秋用肥料	春用肥料
○	

※該当する肥料に○をつけ、秋肥と春肥を分けて作成すること。

作付概要

作物名	作付面積(ha)
米	20
ジャガイモ	5.5
その他	3
計	28.5

氏名(法人・組織名) 長崎 太郎

住所 長崎県長崎市尾上町●番●号

電話番号 ●●●●-●●●●-●●●●

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
2. 「今後の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	令和4年度又は令和5年度の取組	今後の取組
ア 土壌診断による施肥設計	○	◎
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	○	○
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等を含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)		
ソ 地域特認技術の利用()		
総取組面積	25ha	28.5ha

令和6年度以降に実施する取組を2つ以上選択してください。

そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(◎)を含むようにしてください。